

## 令和6年度第1回愛南町入札監視委員会 審議概要

審議完了日	令和6年9月9日（月）	
出席委員氏名	委員長 木下 尚樹（愛媛大学大学院理工学研究科准教授） 委員 澤本 陽一（税理士） 委員 脇田 佳成（(株)愛媛建築住宅センター）	
審議対象期間	令和5年12月1日～令和6年6月30日	
抽出案件	総件数 3 件	（備考） 抽出の考え方 無作為に案件を抽出。（澤本委員が案件を抽出。）
一般競争入札	2 件	
指名競争入札	0 件	
随意契約	1 件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	質問・意見	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

別紙

意見・質問	回 答
<p><b>議題 1 令和元～令和 5 年度愛南町入札契約状況について</b></p> <p>・解体工事の入札率が全体的に低い理由について、入札参加業者の中に中間処理施設を所有している業者がおり、安価に応札できると説明があったが、その業者の落札状況をお聞きしたい。</p> <p><b>議題 2 抽出事業の審議について</b></p> <p><b>【抽出事業①】</b>  <b>◇津波避難ビル屋外階段設置工事</b></p> <p>・予定価格 28,732,880 円と高額な工事を随意契約とした理由。</p> <p>・建築一式工事で発注しなかった理由は？</p>	<p>・令和元年～令和 5 年の解体工事における入札契約状況について、一般競争入札では、当該業者の落札実績はありません。ただし、当該業者が参加した低入札価格調査制度対象工事 4 件中 2 件が低入札また、他 2 件についても 90%・92%と低い落札率になっており、強い競争原理が働いています。随意契約においても、契約している 4 件中 2 件について 81.6%・81.4%と低い落札率となっています。</p> <p>本工事は既存建築物を津波避難ビルとして指定するための屋外階段設置工事であり、4月2日及び4月26日の計2回、愛南町内、鋼構造物工事業の建設業許可を参加資格として事後審査型一般競争入札の入札公告を行いました。が、ともに応札がなく入札不調となりました。それにより建設工事の進捗遅延による町民サービスへの影響を考慮した結果、事業の効率的な執行を図る観点から地方自治法施行令第167条の2第1項第6号の規定による随意契約にて執行しました。</p> <p>・本工事は、鉄骨の製造・加工から組立までを一貫して発注するものであるため、鋼構造物工事業で発注を行いました。</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・本案件の入札参加資格のあった業者数は？</li> <li>・本工事施工箇所における津波による浸水想定高さを教えてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8者です。</li> <li>・本工事施工箇所における浸水想定高さは5.24m。避難用屋外階段を設置する3階建ての建物に対して、2階部分に相当します。</li> </ul>
<p><b>【抽出事業②】</b></p>	
<p><b>◇平城第2水源地取水ポンプ更新工事外1件</b></p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・入札業者が1者のみにもかかわらず、落札率が98.9%、99%となっている理由。1者のみの入札は頻繁にあるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本工事は水源地における送水ポンプの更新工事であり、予定価格は限定されるポンプメーカーからの参考見積書が基となっていること、また、今後も続くとされる資材高騰、品不足及び建設技能者等の賃上げが懸念されることから、結果として落札率が高くなったと推測されます。</li> <li>今回、抽出しました一般競争に係る事業38件のうち、1者のみの入札は18件、47.4%となっております。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本案件の入札参加資格のあった業者数は？</li> <li>・応札者が1者になった場合、入札は中止にならないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・22者です。</li> <li>・一般競争入札においては、入札公告により誰もが入札に参加できる機会が確保されているため、1者のみの応札であっても有効と考えます。</li> </ul>

<p><b>【抽出事業③】</b></p> <p><b>◇抽出対象工事全般</b></p> <p>・競争入札全体を見たところ、落札率がほとんど 98%~99%となっている業者が見受けられるがその理由は。</p> <p><b>議題3 その他</b></p> <p>・特になし</p>	<p>・資材高騰、品不足及び建設技能者等の賃上げに加え、安値受注による資機材のグレード見直しや下請けへの値切り、安全対策、仮設の見直しによるコスト縮減への影響などを懸念した結果、不特定多数の参加者を募った一般競争入札であっても自社の利益を最大限確保するため、予定価格に近い高落札率となっていると推測されます。</p>
--	--